

O5

植物ランクにより景観は変化する

設計図面に緑化システムを記載時に一工夫すると、コストと保証の両面で安心できる緑化が実現します。以下の事項を記載することをお勧めします。

1 用途に合ったシステムにする

地植え可能であれば……ヘデラ種であれば、下垂型が綺麗になる
プランター植栽であれば……深いプランター採用＋外周不織布型

1 植物の品種を選ぶ

緑の壁面にするには……主要品種はヘデラ種
早期緑化するには……巻きツル型種＋剪定、バラ緑化
綺麗に見せる……バラ緑化、クレマチス緑化
冬でもきれいに見せる……ヘデラ種＋冬咲つる植物種(クレマチス、バラ等)
※参考頁: ホームページ「緑化スタイル」のhome >> 緑化 >> 壁面緑化 >> 壁面緑化よくある質問: 使う植物と育て方についてのQ&A

2 「長尺苗(L1000)」と、「植生土壌敷き」のどちらが良いか

長尺苗(L1000)を植栽すると見た目は良いが、1年点検時に成長していないこともあります。

普通苗(L500)でも、土壌が良いと生育が進みます。



L1500苗

L300-500標準苗

例(L1000×W500×H300)の花壇に植栽する場合

● 土壌を改良し、普通苗(L500)を植栽する場合

構成: 現地発生土＋堆肥＋遅効性肥料＋普通苗(L500)5ポット

パーク堆肥(約1,000円/袋)と遅効性肥料(1年持続型)材料費300円/1kg使用(約6,000円/20kg)を現地土に鍬込み植生土とする。普通苗(L500)一般

材料代: 改良材1,300円+苗代1,500円=2,800円/m

● 現地土に長尺苗(L1000)を植栽する場合

現地土に、長尺苗(一般1,000円/ポット:5ポット植え/m)

材料代:改良材0円+苗代5,000円=5,000円/m

3 メンテナンス

1年経過時に植栽業者に「誘引+剪定」を受注条件に記載します。

剪定屑は、枯損場所に挿し芽を要請することで捕植すれば、ポット苗の新規購入費用が不要となります。



株式会社三稲ガーデン

〒130-0024 東京都墨田区菊川2-2-14

TEL:03-3634-5820 / FAX:03-3634-5851 <http://www.mitsuine.jp>